令和４年度事業報告

令和４年度庶務事項

１　評議員・役員構成　　（令和４年度末、五十音順）

役　　職	氏　名	兼職状況
評　議　員	菊 池　　透	岩手県商工会議所連合会専務理事
評　議　員	桐 田　教 男	宮古市副市長
評　議　員	熊 谷　泰 樹	岩手県ふるさと振興部長
評　議　員	澤 里　充 男	久慈市副市長
評　議　員	志 田　　努	大船渡市副市長
評　議　員	晴 山　真 澄	釜石市副市長
評　議　員	水 野　雅 裕	岩手大学研究支援・産学連携センター長
代 表 理 事	八重樫 幸 治	岩手県副知事
業務執行理事	鈴 木　俊 昭	岩手県ふるさと振興部副部長兼県北・沿岸振興室長
業務執行理事	高 橋　一 志	岩手県ふるさと振興部部付
理　　事	青 山　　潤	東京大学大気海洋研究所大槌沿岸センター長
理　　事	石 川　義 晃	三陸鉄道株式会社代表取締役社長
理　　事	柿 沼　正 人	一般社団法人日本旅行業協会東北支部岩手県地区委員会委員長
理　　事	菅 野　信 弘	北里大学海洋生命科学部長
理　　事	熊 谷　敏 裕	岩手県商工会連合会専務理事
理　　事	後 藤　　均	岩手県漁業協同組合連合会専務理事
理　　事	松 田　　淳	岩手県立大学宮古短期大学部学部長
監　　事	及 川　　崇	一般社団法人岩手県銀行協会常務理事兼事務局長
監　　事	佐 藤　　修	岩手県町村会参与兼事務局長

２　会議等開催状況

年月日	記　　事
R4.4.1	理事会（決議省略） 第１号議案　代表理事及び業務執行理事の選定について ・八重樫幸治氏を代表理事に、鈴木俊昭氏を業務執行理事に選定
4.1	ＤＭＯ事業部（三陸ＤＭＯセンター）の移転
4.15	変更登記（代表理事及び理事、評議員の変更）
4.19	令和４年度第１回県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業審査委員会 （於：岩手県議会棟会議室）

4.27	令和４年度第１回イベント開催事業審査委員会（於：岩手県公会堂）
4.28	令和４年度コミュニティ活動・人材育成事業審査委員会（於：岩手県公会堂）
5.12	本監査（於：岩手県議会棟）
5.16	本監査（於：岩手県町村会）
5.25	第１回理事会（於：エスポワールいわて特別ホール） 報告事項１　職務執行の状況について 報告事項２　公益目的事業の統合について 第１号議案　令和３年度事業報告及び附属明細書の承認について 第２号議案　令和３年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について 第３号議案　令和４年度第１回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
5.31	令和４年度調査研究事業審査委員会（於：岩手県民会館）
6.14	第１回評議員会（於：岩手県医療局会議室及び Web 会議システム） 報告事項１　職務執行の状況について 報告事項２　公益目的事業の統合について 第１号議案　令和３年度事業報告及び附属明細書の承認について 第２号議案　令和３年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録の承認について
7.11	理事会（決議省略） 第１号議案　令和４年度事業計画の変更及び収支予算（補正第２号）の承認について ・観光庁事業の採択に伴う予算額の増額を承認 第２号議案　評議員会の議事に付すべき事項について
7.14	令和４年度第２回イベント開催事業審査委員会（於：岩手県水産会館）
7.22	評議員会（決議省略） 第１号議案　令和４年度事業計画の変更及び収支予算（補正第２号）の承認について ・観光庁事業の採択に伴う予算額の増額を承認
8.23	令和４年度第２回県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業審査委員会 （於：岩手県議会棟）
9.29	三陸ジオパーク推進協議会との連携協定締結

10.29	三陸観光フォーラム 2022（於：浄土ヶ浜ビジターセンター）
11.18	令和４年度研究成果報告会（於：岩手大学釜石キャンパス）
R5.1.18	第２回理事会（於：エスポワールいわて特別ホール） 報告事項１　職務執行の状況について 第１号議案　公益目的事業の統合について 第２号議案　令和５年度事業計画及び収支予算について 第３号議案　公益財団法人さんりく基金育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 第４号議案　令和４年度第２回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
1.31	第２回評議員会（於：岩手県医療局会議室及び Web 会議システム） 報告事項１　職務執行の状況について 報告事項２　公益目的事業の統合について 第１号議案　令和５年度事業計画及び収支予算について
2.6	公益法人認定法に基づいた変更認定申請書提出 公益目的事業の統合に係る変更申請
3.15	変更認定
3.24	理事会（決議省略） 第１号議案　県出資等法人に係る中期経営計画書について 第２号議案　令和５年度事業計画の変更及び収支予算（補正第１号）について ・県負担金事業に伴う予算額の増額を承認 第３号議案　重要な使用人の選任について ・事務局長、事務局次長、三陸ＤＭＯセンター長を選任 第４号議案　評議員会の議事に付すべき事項について ・理事　鈴木俊昭氏、高橋一志氏及び柿沼正人氏の辞任に伴い、後任理事の候補者（菅原健司氏、中野文男氏及び飛知和比呂志氏）を決定
3.30	評議員会（決議省略） 第１号議案　令和５年度事業計画の変更及び収支予算（補正第１号）について ・県負担金事業に伴う予算額の増額を承認 第２号議案　理事の選任について ・菅原健司氏、中野文男氏及び飛知和比呂志氏を理事に選任

基本財産造成状況等

1　基本財産造成状況（令和５年３月 31 日現在）　335,400,000 円

（1）県　230,000,000 円

（2）市町村　100,000,000 円

（3）民間企業団体等　5,400,000 円

市町村別出捐内訳　（単位：千円）

市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額	市町村名	出捐金額
大船渡市	10,900	宮古市	19,000	久慈市	10,400
（うち旧三陸町分）	(3,600)	（うち旧宮古市分）	(10,000)	（うち旧久慈市分）	(7,500)
陸前高田市	6,100	（うち旧田老町分）	(3,100)	（うち旧山形村分）	(2,900)
住田町	3,400	（うち旧新里村分）	(2,900)	普代村	2,900
釜石市	9,200	（うち旧川井村分）	(3,000)	野田村	3,100
大槌町	4,900	山田町	5,400	洋野町	7,800
遠野市	9,400	岩泉町	4,400	（うち旧種市町分）	(4,500)
（うち旧遠野市分）	(6,200)	田野畑村	3,100	（うち旧大野村分）	(3,300)
（うち旧宮守村分）	(3,200)	合計			100,000

民間企業・団体等出捐内訳（名称は出捐当時）

・三陸地域金融機関取りまとめ　幹事　岩手県銀行協会
（岩手銀行、東北銀行、北日本銀行、みちのく銀行、盛岡信用金庫、
宮古信用金庫、一関信用金庫、花巻信用金庫）　2,000 千円

・新日本製鐵株式會社釜石製鐵所　1,000 千円

・東北電力株式会社岩手支店　1,000 千円

・日本電信電話株式会社盛岡支店　1,000 千円

・久慈商工会議所　100 千円

・宮古商工会議所　100 千円

・釜石商工会議所　100 千円

・大船渡商工会議所　100 千円

民間企業・団体等計　5,400 千円

2　基本財産評価損益　（令和５年３月 31 日現在）　2,703,576 円

基本財産合計額　338,103,576 円

令和４年度事業実施状況について

Ⅰ　基本方針

当財団の設立目的である三陸地域及びその周辺地域の振興を図るため、東日本大震災津波発災以降、復旧・復興に重点的に取り組んできたところであるが、令和４年度は、震災と２度の台風災害からの復興に取り組んできた三陸地域の更なる振興を目指すとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による経済環境変化を踏まえ、より実践的な地域振興を図ることとし、次の事項を重点的に取り組んだ。また、ＤＭＯ事業部（三陸ＤＭＯセンター）を宮古市に移し、現地機能の強化を図ったところ。

・地域課題を解決し、地域振興につながる事業の促進
・交通ネットワークや観光資源を活用した観光地域づくりの促進
・三陸地域の振興に資する実用性・事業性の高い調査研究や活動への支援

Ⅱ　事業別の実施状況

公１：三陸地域の振興に関する総合的な調査研究及び提言

１　三陸地域の観光地域づくり体制の整備 ＤＭＯ事業部

〔目　　的〕

ＤＭＯ事業部（三陸ＤＭＯセンター）の活動拠点を宮古市に移し、現地機能の強化を図るとともに、三陸観光ポータルサイト「さんりく旅しるべ～いわて三陸観光ガイド～」の管理・運用により、国内外に向けた三陸地域の観光情報を発信し、三陸地域での観光地域づくりを推進する。

〔実施状況〕

(1)　令和４年４月から活動拠点を宮古市に移し、専門人材を増員した。現地機能の強化及び関係団体との連携強化を図った。

(2)　三陸観光ポータルサイト「さんりく旅しるべ～いわて三陸観光ガイド～」により、観光ルート、観光施設、宿泊施設、体験プログラム、食、土産、イベント等の三陸地域の観光情報を国内外に向けて一元的かつ効果的に発信した。

サイトアクセス数：1,223,871pv（Ｒ４．４～Ｒ５．３月）

〔実　績　額〕

(1)　16,152,552 円

(2)　1,227,600 円

〔主な成果〕

国内外の三陸地域に興味を持つ人々に向けて積極的に情報発信することにより、三陸地域を訪問する契機となり、交流人口の拡大及び地域経済の活性化を推進した。

なお、総アクセス数は令和３年度のデータと比較して、ほぼ同程度となった。

（令和３年度：1,237,658pv、令和４年度：1,223,871pv(対前年比：98.9%)）。

〔今後の展開〕

動画の活用や関係機関との連携による効果的・タイムリーな情報発信により、三陸地域への誘客を図る。

また、三陸沿岸道路の全線開通に伴うアクセス情報の改善、体験プログラム・イベ

ント情報等の充実を図るとともに継続的なデータ収集・分析を行い、利便性の高い情報発信に取り組む。

2　三陸沿岸道路と地域資源を活用した広域周遊観光プログラムの構築 DMO事業部

〔目　　的〕

携帯電話の位置情報を活用したデジタルマーケティング調査を実施し、三陸沿岸道路全線開通に伴う観光面での波及効果の測定と三陸地域の状況変化に応じた観光客の属性・動態の調査・分析に基づく周遊型滞在を推進する。また、「さんりく旅しるべ博（三陸の地域資源を活用した体験プログラムの集中的な情報発信や三陸観光フォーラム等）」を開催し、広域連携で三陸の観光・旅の魅力発見や交流人口の拡大につなげる。

〔実施状況〕

(1) 三陸沿岸エリアに来訪した人（日帰り・宿泊）の観光動態調査を行い、基礎集計（三陸沿岸エリアに来訪した人の全体傾向把握）、及び観光エリア分析（観光エリア単位の来訪者特性の分解）を行った。

調査方法：　携帯電話の位置情報を活用した、観光動態調査

調査期間：　令和４年４月１日～令和４年９月 30 日

動態観測対象：　三陸沿岸エリア内に 45 分以上滞在した人
（三陸沿岸エリア居住者・通勤者、高頻度来訪者は除外）

全体来訪者数：　14,452 人
（宿泊率：39.9%、日帰り率：59.0%、夜間移動率：1.6%）

来訪者割合：　男性 56.7%、女性 43.3%

発地都道府県・市区町村：

順位	都道府県	構成比
1	岩手県	45.3%
2	宮城県	21.2%
3	東京都	5.2%
4	青森県	4.8%
5	神奈川県	2.6%

順位	市区町村	構成比
1	盛岡市	12.0%
2	気仙沼市	7.2%
3	奥州市	5.4%
4	北上市	4.9%
5	遠野市	4.7%

(2) ポータルサイトと連動した「さんりく旅しるべ博 2022」（三陸の地域資源を活用した体験プログラムの情報発信やフォーラム等）を開催した。

開催期間：令和４年９月１日～10 月 31 日

対象地域：岩手県沿岸 13 市町村

実施内容：

① いわて三陸の体験アクティビティ、イベント等の情報を発信する『さんりく旅しるべ』内に専用ページを公開した。

関連イベント掲載数 ：55 件

② 体験アクティビティ予約サイト内に特設ページを開設し、三陸地域の体験アクティビティコンテンツを掲載した。（株式会社アクティビティジャパンへ委託により実施。）

コンテンツ掲載数：18 件

③ 三陸広域の周遊促進を図るデジタルスタンプラリーの開催や岩手県内外の会員に向けたメールマガジンの発行を実施した。（一般社団法人日本自動車連盟（ＪＡＦ）へ委託により実施。）

スタンプラリー登録数（企画参加者数）：270 名

スタンプ数：335 件

メールマガジン配信数（東北エリア）： 218,675 通

（関東エリア）：1,276,398 通

④ 岩手県内外の三陸地域に愛着を持つ方々を対象に、三陸観光フォーラム及び交流会を開催した。（株式会社日々旅へ委託により実施。）

開 催 日：令和４年 10 月 29 日（於：宮古市浄土ヶ浜）

参加者数：三陸観光フォーラム（34 名）、交流会（39 名）

〔実 績 額〕

(1) 4,499,000 円

(2) 5,457,422 円

〔主な成果〕

(1) 観光スポット 20 地点（沿岸 13 市町村の他、岩手県内陸地域、青森県、宮城県）の携帯電話の位置情報データから、来訪者属性、旅行行程、宿泊地、滞在時間、流出入経路、交通手段、立ち寄り地、周遊項目を集約し、三陸沿岸道路の全線開通など三陸地域の状況変化による来訪者の属性や動向などのデータ分析のための基盤を整えた。

(2) 三陸地域の自然、歴史文化、食などの三陸の魅力を再発見していただけるよう、「知る」「行く」「楽しむ」をテーマに、三陸の地域資源を活かした様々な体験プログラムやイベントの企画・発信を行った。

〔今後の展開〕

三陸沿岸道路の全線開通など三陸地域の状況変化による来訪者の属性や動向などのデータ（令和４年度実施）を基に、調査分析と市町村等へのフィードバックを実施し、各地域の戦略策定を支援する。

3　三陸地域における観光周遊実証調査・研究 ＤＭＯ事業部

〔目　　的〕

三陸地域の持続可能な発展に向けて、地域振興のための事業化可能性調査、三陸地域全体の振興方策の検討等を行い、地域資源を生かした観光産業の振興や三陸地域のブランド確立などにかかる事業の総合的な展開、三陸地域一体となった魅力的な地域づくりを推進する。

〔実施状況〕

これまで養成した三陸観光プランナー（H28：26 名、H29：21 名、H30：５名、R元：８名、Ｒ２：13 名、Ｒ３：８名）の活動のフォローアップや体験プログラムの造成支援を行うとともに、三陸観光プランナーが提案する体験プログラムを組み込んだモニターツアー等を実施した。

○ モニターツアー等の開催内容（三陸観光プランナー養成塾と同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第１回	Ｒ４.12.21	洋野町	ＳＤＧｓに繋がる取り組み（藻場再生×うに再生養殖など）の学習、ヒロノット（洋野町にぎわい創造交流施設）視察、地域資源活用ワークショップの開催。 参加者：５名
第２回	Ｒ５．２．９	北上市	キャンプ・ワーケーション等を提供する総合施設において、冬のプログラム（クアオルト健康ウォーキング等）体験、意見交換・グループワークを実施。 参加者：10 名
第３回	Ｒ５．３．８	陸前高田市	民泊事業及びデンマークの教育機関との交流事業等通じた取り組み視察、総括として、参加者が地域資源を活用した体験プログラムのアイディアを発表。 参加者：10 名

○ 盛岡第三高等学校総合学習

開催日時	開催地	主な内容
Ｒ４.10.18	宮古市 ほか６市町	総合学習の一環として行う震災学習やＳＤＧｓの要素を取り入れた体験プログラムツアーを支援（７コースに分かれて実施） ・陸前高田コース（震災遺構・ピーカンナッツ農場見学、フレスコボール体験等） ・大船渡コース（防災観光アドベンチャーゲーム体験、セメント工場見学等） ・釜石鵜住居コース（鵜住居地区震災学習、オリジナルクロスロード体験等） ・釜石平田コース（岩手大学釜石キャンパス講義、水産業研究体験等） ・大槌コース（吉里吉里国震災講話、薪割り体験、岩手大槌サーモン養殖の取組講話）

		・山田コース（震災ガイド&復興まち歩きツアー、スローショッピング体験） ・宮古コース（田老地区震災ガイドによるツアー、水産加工会社工場見学・講話等）

〔実　績　額〕

170,597 円

〔主な成果〕

三陸観光プランナーが企画した体験プログラムの旅行商品化に向けて、改善点の洗い出しやその対応の検討を行うとともに、ツアー企画やガイドを通じて、三陸観光プランナーの活動現場における対応力やコーディネート力の向上が図られた。

なお、令和４年度に造成し、モニターツアー等により磨き上げられてきた体験プログラム７件が旅行商品として販売された。

〔今後の展開〕

三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル、三陸鉄道など、三陸地域の資源を生かした多彩なコンテンツの開発促進を行うとともに、「三陸地域に周遊・滞在する」多彩な旅行商品の造成を推進する。

また、三陸観光プランナー養成塾受講生が造成した体験プログラムについて、モニターツアー等を実施し、商品化に向けた支援を継続的に行う。

盛岡第三高等学校総合学習

４　三陸総合振興体制整備に向けた調査・研究 企画事業部

〔実施状況〕

長期的な視点に立ち、復興の先を見据えた三陸地域の持続的な振興を図るため、三陸地域の防災学習に係る大学や企業等のニーズや他県の先進事例を調査するとともに、総合的な推進体制の構築に向けた検討を行った。

〔実　績　額〕

64,060 円

〔主な成果〕

(1) 防災推進国民大会 2022 in 兵庫（神戸市）において、三陸地域をフィールドとした防災学習に係る大学や企業等のニーズや「阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター」をはじめとした震災伝承や防災学習の取組の先進事例を調査した

(2) 地域経済の好循環を生み出す総合産業としての観光産業の振興を図るため、三陸地域の市町村や観光関連事業者との連携強化に向けた体制を検討した。

〔今後の展開〕

三陸地域の総合的な振興を推進する体制については、観光地域づくりを中心として、岩手県と連携し、具体的な推進体制の構築スケジュールなどについて、引き続き検討を進めていく。

５　三陸地域の観光コンテンツを活用した旅行商品造成支援等の実施 ＤＭＯ事業部

〔目　　的〕

震災学習を中心とした三陸地域における体験コンテンツを掲載した「タリフ集」の作成及びポータルサイトにて特集を組み、商談会等でのＰＲや招請事業を実施することにより、岩手県沿岸地域への顧客促進を図る。

〔実施状況〕

(1) 三陸地域ならではの体験プログラムのタリフ集の作成（500 部）
(2) 三陸観光ポータルサイト「さんりく旅しるべ」内へのタリフ集特設ページ設置
(3) 岩手県観光協会等が主催する商談会でのＰＲ
(4) 学校関係者及び旅行事業者向け招請事業の実施

開催日時	参加者	内容
R5.1.10～11	北海道の学校関係者及び旅行事業者（３名）	（１泊２日：三陸南部コース） 東日本大震災津波伝承館（陸前高田市）、防災×アドベンチャーゲーム体験（大船渡市）、大槌ジビエ（大槌町）施設見学等
R5.1.27～29	東京都の旅行事業者及び福岡県の学校関係者（４名）	（２泊３日：三陸全域コース） 東日本大震災津波伝承館（陸前高田市）、防災×アドベンチャーゲーム体験（大船渡市）、大槌ジビエ（大槌町）施設見学、山地酪農牛乳（田野畑村）視察、普代水門見学（普代村）、三陸鉄道乗車等

〔実　績　額〕

2,198,185 円

〔主な成果〕

三陸地域への誘客に係る招請事業と三陸観光プランナーが造成した体験コンテンツ等のＳＤＧｓプログラムの販売促進に向けた取組を実施し、三陸地域の観光需要の回復及び県内周遊を促進することにより、震災学習を中心とした教育旅行等の誘致拡大や岩手県への来訪の定着化を図った。

〔今後の展開〕

各種商談会等で令和４年度に整備したＳＤＧｓプログラム（タリフ集）を活用し、三陸地域一体となったＰＲや招請事業を進め、三陸地域の魅力を発信していく。

公２：三陸地域の振興のための人材育成

１　三陸地域における観光人材の育成 ＤＭＯ事業部

〔目　　的〕

観光関係者の連携の推進、着地型旅行商品づくりを担う人材育成等を実施することにより、三陸地域の観光地づくりを推進する。

〔実施状況〕

三陸沿岸地域の豊かな自然・食材の恵み・郷土文化等を生かした体験プログラムをはじめとする着地型旅行商品の企画を担う人材の育成を目的とした「三陸観光プランナー養成塾」を開催した。

○ 三陸観光プランナー養成塾の開催内容（モニターツアーと一部同時開催）

	開催日時	開催地	主な内容
第１回	Ｒ４.12.21	洋野町	ＳＤＧｓに繋がる取り組み（藻場再生×うに再生養殖など）の学習、ヒロノット（洋野町にぎわい創造交流施設）視察、地域資源活用ワークショップの開催。 参加者：５名
第２回	Ｒ５．２．９	北上市	キャンプ・ワーケーション等を提供する総合施設において、冬のプログラム（クアオルト健康ウォーキング等）体験、意見交換・グループワークを実施。 参加者：10 名
第３回	Ｒ５．３．８	陸前高田市	民泊事業及びデンマークの教育機関との交流事業等通じた取り組み視察、総括として、参加者が地域資源を活用した体験プログラムのアイディアを発表。 参加者：10 名

〔実　績　額〕

170,587 円

〔主な成果〕

令和４年度は新規に 10 名の三陸観光プランナーを養成し、平成 28 年度から累計 91 名を養成した。

〔今後の展開〕

商品企画力と商品化に向けた実践力を備えた人材の育成（三陸観光プランナー養成塾）、三陸観光プランナー相互のネットワークの強化や事業者とのマッチング（三陸観光プランナー相互の情報交換会（三陸地域の課題や解決方法、インバウンドの取組等））を実施する。

２　三陸ジオパークの活動の推進 企画事業部

〔目　　的〕

三陸ジオパークの担い手となる地域住民ガイドを養成するため三陸ジオパーク推進協議会に負担金を拠出し、三陸ジオパークの活動を推進する。

〔実施状況〕

三陸ジオパーク推進協議会において、令和４年７月から令和５年２月にかけて認定ガイドの養成講座を開催し、各地の震災伝承ガイド等 29 名が参加した。

〔実　績　額〕

200,000 円

〔主な成果〕

令和４年度は、認定ガイド 11 名が新規登録され、令和４年度末時点での認定ガイド登録者数は 57 名となった。

〔今後の展開〕

引き続き、三陸ジオパークの担い手として、その魅力を発信できる認定ガイドの養成を支援し、三陸ジオパークの活動を推進していく。

公３：三陸地域の振興に関する調査研究事業に対する助成

公４：三陸地域及びその周辺地域の振興に関する研究開発事業に対する助成

○　調査研究事業

〔目　　的〕

大学・研究機関等の知的資源を生かした三陸地域の振興に資するための実用性・事業性の高い研究事業への助成を行い、その調査研究成果の普及啓発等により、三陸地域の地域資源を活用した研究・開発の促進を図る。

〔実施状況〕

(1)　助成件数７件（助成総額　6,787,000 円）（別添資料１参照）
（※申請件数 15 件／採択件数７件）

(2)　機関誌「三陸総合研究」第 47 号の発行（300 部、10 月発行）

(3)　成果報告会の開催（令和４年 11 月 18 日　参加者 73 名（於：岩手大学釜石キャンパス））

公５：三陸地域及びその周辺地域の地域振興を図るための事業に対する助成

１　県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業

〔目　　的〕

地域の農林水産物や観光資源などの特性を生かした新商品開発や国内外からの観光誘客促進に向けた受入態勢の整備及びサービス開発にかかる経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数 12 件（助成総額 4,453,000 円）（別添資料２参照）
（※申請件数 16 件／採択件数 12 件）

その他、過去採択事業者のフォローアップとして、開発した商品の販路拡大を促進するため、「いわて食の商談会 in 仙台」への出展支援及び販路開拓に係る個別指導を実施した。（岩手県産株式会社への委託により実施。）

株式会社おおのミルク工房

株式会社プランタンいずみ

久慈琥珀株式会社

株式会社シャイン

２　コミュニティ活動・人材育成事業

〔目　　的〕

持続可能なコミュニティ形成や伝統文化の維持継承など地域課題解決のための地域住民が主体となる自立的な取組やその活動に関連する経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数４件（助成総額　2,201,000 円）（別添資料３参照）

（※申請件数　11 件／採択件数４件）

一般社団法人マルゴト陸前高田

こんたでぃーの遠野

３　イベント開催事業

〔目　　的〕

三陸地域の活性化及び交流人口の拡大に向けたイベント（震災復興に資する取組、また三陸地域として広域的波及効果がみられる取組と認められるもの）の開催経費に対する助成を行う。

〔実施状況〕

助成件数１件（助成金額　1,577,000 円）（別添資料４参照）

（※申請件数４件／採択件数１件）

事業報告の附属明細書の作成について

令和４年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和５年５月
公益財団法人さんりく基金

（資料１）令和４年度調査研究事業（７件）　実績一覧

	申請者名 （代表者「◎」）	タイプ	事業名	助成金額 （円）
1	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	三陸地域を豊かにするための久慈産ジェット（黒玉）の機能性研究	1,000,000
2	学校法人北里研究所	Ⅰ	水産未利用資源に存在する高機能性成分の有効活用法に関する研究	1,000,000
3	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	画像分析技術を用いた岩手ワカメの等級規格策定と高付加価値化の検討	1,000,000
4	国立大学法人岩手大学	Ⅰ	新規ご当地サーモンとしての海水養殖バイテク魚の可能性評価	1,000,000
5	◎有限会社三陸とれたて市場 国立大学法人岩手大学 国立大学法人鹿児島大学	Ⅱ	科学的視点に基づく割烹グレードの高付加価値化冷凍商材の製造並びに解凍方法の標準規格の策定に関する研究	811,000
6	岩手県水産技術センター	Ⅰ	水産食品に増殖する微生物に関する研究	999,000
7	岩手医科大学	Ⅰ	災害対応者メンタル訓練のためのバーチャルモデル構築への取り組み	977,000
			合計	6,787,000

※タイプⅠ…大学等研究機関が実施する調査研究事業

タイプⅡ…大学等研究機関と事業者が連携して実施する調査研究事業

（資料２）令和４年度県北沿岸地域新商品・新サービス開発事業（12件）　実績一覧

	事業者名	事業者所在地	事業概要	助成金額（円）
1	三本木工芸	洋野町	天然素材を活用したハンドメイド「再生型商品」の開発～「胡桃のかごバック」「蔓や樹皮の切れ端によるチャーム」～	305,000
2	株式会社おおのミルク工房	洋野町	乳業メーカーによる生乳を使わないアイスクリームの展開～牛乳が苦手な方でも楽しめるアイスクリームの提供～（「豆乳アイスクリーム（山ぶどう）」の開発）	346,000
3	株式会社プランタンいずみ	久慈市	北いわての高度な縫製技術を活用し、三陸鉄道とコラボした新たなアパレル製品・グッズの展開（「さんてつ時刻表パーカー」他の開発）	436,000
4	久慈琥珀株式会社	久慈市	琥珀と恐竜の街・久慈市！オリジナル恐竜スイーツ新土産の開発と販売（「恐竜の森　さくほろクッキーティラノボーロ」の開発）	478,000
5	有限会社早野商店	岩泉町	宮古湾産牡蠣と紫波町産ワインを用いた全く新しい加工品の開発	187,000
6	泉金酒造株式会社	岩泉町	見学者自身のスマホを使った蔵見学動画の企画、作成	492,000
7	さしはた牧場	岩泉町	完全放牧のジャージー牛の生乳を利用した、濃厚ジェラートの開発	420,000
8	有限会社宮古マルエイ	宮古市	新しい切り口の商品で新規顧客の獲得と認知を高める(「元魚嫌いさん監修ペロッと干しかれい」、「骨せんべい調理キット」の開発）	101,000
9	株式会社バンザイファクトリー	大船渡市	高級パン業界に特化した商品開発とマーケティング開拓（「三陸椿バター」の開発）	500,000
10	みんなのしるし合同会社	大船渡市	防災／復興教育コンテンツでオンリーワン企業を目指す（防災ワークショップ用の動画・ワークブックの作成）	500,000
11	株式会社シャイン	大船渡市	地域の未利用資源を有効活用し、漁業全体が抱える課題を解決する（「鮑塩」の開発）	426,000
12	D-Design Farm	陸前高田市	フルーツトマトの規格外品を活用した加工品の製作と販路開拓（トマトジュースの開発）	262,000
			合計	4,453,000

（資料３）令和４年度コミュニティ活動・人材育成事業（４件）　実績一覧

	事業者名	主な 活動地域	事業概要	助成金額 （円）
1	すなどり舎	釜石市 大槌町	交流人口増を目的とした釣り振興事業 ～アフターコロナに向けた釣り場MAPの制作と初心者対象の釣り体験会の実施～	664,000
2	一般社団法人マルゴト陸前高田	陸前高田市	交流人口拡大を目的とする新市街地をフィールドにした探究学習の受入体制構築事業 ～震災学習から復興交流学習へ～	408,000
3	こんたでぃーの遠野	遠野市	伝統野菜継承に向けた担い手育成とコミュニティ形成事業	649,000
4	特定非営利法人やませデザイン会議	久慈市	北岩手循環共生圏における地域住民との対話による再エネ導入人材・コミュニティ育成事業	480,000
			合計	2,201,000

（資料４）令和４年度イベント開催事業（１件）　実績一覧

	事業者名	事業概要	イベント開催地	助成金額（円）
1	一般社団法人燈	いわてガストロノミー会議in普代 （県内外の著名なシェフや生産者、食の専門家が一堂に会し、今後の「食」の在り方を追究する会議や交流会の開催）	普代村	1,577,000